

多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

日時：令和元年9月27日(金)～28日(土)

参加者：地域国際化協会、市町村国際交流協会、自治体より20名

取組の概要：

就労する外国人が増加している現状を踏まえて、外国人集住都市であり、近年は多国籍化も進む浜松市の先進的な取り組みを概観し、働く外国人との共生の現場や支援の取り組みを知ること、今後の施策立案のベースや参考となる知見を得るための講義と現場研修、外国人のキーパーソンによるトークセッションおよびワークショップを行った。



多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

プログラム

統括ファシリテーター：地域国際化推進アドバイザー 堀永乃氏

1日目：9月27日(金)

■浜松市学習支援センター(浜松市が運営する学習支援施設)

にて、講義および施設見学

浜松市役所国際課

浜松市教育委員会

浜松市学習支援センター

■平野ビニール工業株式会社

工場内視察

社長による講義

■情報交換会



多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

2日目：9月28日(土)

■(一財)グローバル人財サポート浜松

団体の活動概要講義

介護人材養成研修の見学

■浜松国際交流協会・浜松市多文化共生センター

施設見学

団体の活動概要講義

■トークセッション

浜松で活躍するブラジル出身の方の体験談を中心に

金城アイコ氏(NPO法人ARACE理事長)

宮本ルーカス氏(ITsuyaku代表)

■ワークショップ

実地研修で学んだことについてグループで議論、発表

■グローバルストリート散策



多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

参加者の声

浜松市役所の講義について

多文化共生に関する取り組みの多様性にびっくりした。浜松市は都市規模が大きいからこのような取り組みができたわけではなく、担当者たちがいかに予算を取ってくるか、いかに様々な制度を活用するかを考え抜いた結果だと聞いて、勇気づけられた。

平野ビニール協業見学について

技能実習生たちをしっかりと教育しよう、大事にしようとしている熱い思いが伝わった。人手不足の中働きたいと、選ばれる企業になっている。工場内でも、みんな笑顔で挨拶をしてくれ職場の雰囲気もよく、また仕事中的目つきも真剣で、責任感をもって仕事に取り組んでいる様子だった。このような企業はまだまだ少なく、安い労働力として使っている企業が多いが、この理念をぜひ日本中に広めて、日本で働きたいという若者が世界中からくるような、選ばれる日本企業が多く出てほしいと思った。



ワークショップの様子

多文化共生先進取組事例「体験塾」in浜松 実施報告(概要)

参加者の声

浜松市教育委員会の講義について

- ・学校に入る前、入った後、卒業後など一貫した支援が手厚く、すごいと思いました。
- ・ロールモデルとの出会いの場を作ったり、母国語教育や大学生を巻き込んだ進学支援など、子供、親、教師に向けて子供の強みを生かす指導を目指していたのが印象的。
- ・教育総支援センターとして、外国人、不登校、発達支援を束ねているのは勉強になった。

(一財)グローバル人財サポート浜松の講義について

- ・浜松市は外国人の介護問題など本当に先の先まで考えられていて驚いた。また、認知症になったら母語を忘れてしまうことを見据えての配慮がすごいと思った。

トークセッションについて

- ・地域の外国人が自分の経験を踏まえて、自ら考え行動し、外国人が外国人を支援する体制ができているのが素晴らしい。
- ・当事者お二人のお話はとても深く心に刺さった。母国ではない場所で必死に努力され、同じ立場の外国人のサポートを行われているお二人の存在は、外国人だけでなく日本人も支えられているのではないかと感じた。



活躍する外国人の方々とのトークセッション